

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域の文化・自然を伝えるための資料の作成、普及事業
事業主体 (連絡先)	スワンプロジェクト 岡谷市東銀座 2-13-28 株式会社 宮坂製糸所内
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	563,882 円 (うち支援金: 361,000 円)

事業内容

当プロジェクトは、平成28年の御柱の年に小学校の読み聞かせボランティアや図書館司書が、子供たちに地域の文化を分かりやすく伝える紙芝居を作成しよう、というところから始まりました。子ども向けの資料が少なく、また現在の少子化を目の当たりにして、子供たち(文化の担い手)に地域の文化をどう受け渡していくのが課題と考えています。

今までに紙芝居『諏訪の御柱祭』『御渡り』を作成しました。今期は『霧ヶ峰』を神社宮司を始め地域の方や、関係団体に取材を行いながら作りました。また、諏訪地域の民話や紙芝居を用い、読み聞かせに携わる方や地域の方へのお話をセラ真澄にて開催しました。



【 『霧ヶ峰』紙芝居 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①旧御射山神社宮坂宮司、霧ヶ峰自然保護センター、八島ビジターセンター、NPO法人霧ヶ峰基金などに取材し、『霧ヶ峰』紙芝居200部作成。できるだけ正確な内容を目指し、今までにない地域資料を作成しました。
- ②「諏訪のいま・むかしお話会」はセラ真澄にて、38名の参加を頂いた。幅広い年齢層に地域のお話を紹介。
- ③各50部づつ作成。塩尻市図書館や飯綱町の公民館など、諏訪地域を超え長野県内からの問い合わせに対応。
- ④諏訪・岡谷市の小・中学校図書館にアンケートを実施。23校中20校で児童の読み聞かせに利用されました。

- ①紙芝居『霧ヶ峰』作成
- ②「諏訪の今・むかしお話会」開催
- ③『諏訪の御柱祭』『御渡り』増刷
- ④地域への普及

【目標・ねらい】

※自己評価 【 A 】

【理由】
アンケートや問い合わせの状況から、広く利用されているように思います。取材でも深く活動されている地元の方にお話を聞きました

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も特色のある諏訪地域の文化(手長・足長や諏訪の殿さま、最終的には八ヶ岳まで)を取り上げ、分かりやすい地域資料を作成していきたい。またこれらの紙芝居を諏訪地域の図書館や学校に利用して頂いたり、地域文化を守っていくための1つの取り組みとして、長野県内にも紹介していきたい。紙芝居を核として、地域の民話などを集めた濃いお話会も開催していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある